**30年3月　NMC月例会報告**

　1.開催日:　平成30年3月30日(金)18:30～20:25

(質疑応答40分を含む)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2.開催場所：　阿佐ヶ谷地域区民ｾﾝﾀｰ会議室

(20:35～22:10有志の懇親会は中華料理店「青松」)

3.演題：　**東京2020大会:新たなｽﾎﾟｰﾂ価値の創造**

**(東京ｵﾘﾝﾋﾟﾂｸ･ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟﾂｸの準備情況と課題)**

4.講師：　**(公益財団法人)東京ｵﾘﾝﾋﾟﾂｸ･ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟﾂｸ競技**

**大会組織委員会の古宮正章副事務総長**

(略歴):　昭和56年3月東大(法)卒後、日本開発銀行

<現(株)日本政策投資銀行>入行。政策企画部長、企業金

融第一部長､常務執行役員業務企画部長、取締役常務執行

講師：古宮　正章氏

役員､設備投資研究所所長を経て､平成29年6月に現職就任。

5.参加者：　17名(講師と下見参加の非会員の竹原恵子さんと義娘の親子2名を含む)

6.内容：　小川理事長の開会挨拶、宮崎理事の講師略歴紹介に続き､古宮氏が、詳細な

開催までのｽｹｼﾞｭｰﾙ表とﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰを使い、ｽｸﾘｰﾝに映し出した映像資料を使い､約1,300

人からなる組織委員会や運営経費の負担割合、東京ｵﾘﾝﾋﾟﾂｸとﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟﾂｸがもたらす影

響(国民の健康、訪日観光客数の増加､ｽﾎﾟｰﾂ振興、街づくり等)を解説。1964年の東京

大会は､新幹線開業や首都高速道路開通などで日本を大きく変えた。2020年の東京大会

は､①全員が自己ﾍﾞｽﾄ､②多様性の調和､③未来への継承の3つの基本ｺﾝｾﾌﾟﾄに基づき､

史上最もｲﾉﾍﾞｰﾃｲﾌﾞで世界にﾎﾟｼﾞﾃｲﾌﾞな改革をもたらす大会とするというｷｬﾂﾁﾌﾚｰｽﾞを

掲げている。新設施設建設と旧施設の改修状況､道路整備状況､選手村から選手を競技

会場までの移送問題､暑さ対策､ｽﾎﾟﾝｻｰ制度の仕組み､欧米での放映権料の関係からく

る競技開始時間調整､多数のﾎﾞﾗﾝﾃｲｱの募集と養成などの苦労話､現時点での東京ｵﾘﾝﾋﾟ

ﾂｸとﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟﾂｸの準備情況と課題を話された。その後､石村理事の司会で質疑応答があ

り､約40分にわたり質問と応答を通じて問題点などを聞くことができた。懇親会は16

人が参加し､講師を囲み中華のｺｰｽ料理に舌鼓をうちながら懇談をした。この日参加の

竹原親子は､4月からNMCに入会(年会費納入)されました。(文責:石村誠人)





石村、宮崎(写真撮影)、小川(俊)、高橋、小池、竹原(恵)、竹原(美)、恩田、細越、

　　　　　　　　内田、江尻、小高、森、浅川、関屋、小川(啓)